

神奈川県ビリヤード協会 -議事録-

2025.2.3 12:00～ Zoom 会議

参加者：安藤・崎村・板橋・石井・杉万



| 1

議論内容：

1. BLUEROSE CUP 日韓女子対抗戦のスポンサーとの面会
2. 藤沢総合高校の授業 結果報告
3. 生徒へのアンケート集計と分析結果の報告
4. アーティスティックの日本代表選抜戦を神奈川でやるのか？
5. 年末に実施した協会加盟店舗および正会員に対するアンケート結果の報告
6. 総会に向けての準備
7. 講師選定ガイドライン
8. ビリヤード普及活動計画

1. BLUEROSE CUP 日韓女子対抗戦のスポンサーとの面会（安藤）

アロウズで行った予行試合にいった。本大会について KBA は協力できることはないが、これからお互いに協力できることはあるかもしれない。

2. 藤沢総合高校の授業 結果報告（安藤）

総合高校における体育の授業について、四回の授業の工程が全て終わりました。今回はポケットのプロ三名と、サポーター 1 人を入れて 4 人で活動した。それに加えて、協会として 3 名を派遣した。どういう風にすれば生徒全員が楽しめるのか、限られた時間をどう生かすのかっていうところに対して。みんなが尽力し、それぞれがいろんな意見を持ち合い授業を行った。次につながる一歩となったと思う。一方で先生方は寄贈したテーブルを大事にするあまりに体育の授業以外で生徒には触れさせないという現実があった。体育の授業以外でも、自由時間に、生徒たちがテーブルに触れられる様に学校側が提供してもらえればありがたいなと思った。そのためには年に 1 回のメンテナンスを協会が受け持つなど今後の支援ができれば先生も安心してテーブルを使わせることができるのでクラブ活動などに発展する可能性が出てくると思う。

次回に体育の先生が授業を単独で行うことはできそうか？（崎村）

=> 生徒 16 名に対して、先生とスタッフが 6～7 人の体制で授業を行わないと厳しい（板橋）

とにかく普通のビリヤード場で初心者を教えるのと全く違うなと思った事は人数多いので一斉に生徒を動かす必要があり、そこがすごい負担になる。

次回の体育については学校側で授業計画ができていないので未定（石井）

3. 生徒へのアンケート集計と分析結果の報告（石井）

神奈川県立藤沢総合高等学校 ビリヤード授業 アンケート（回答）について説明

各アンケート項目に対してデータを整理し考察をまとめた。今回の学校の授業に協力して頂いた方々に送付する。

BCJ には石井から送付し、講師には安藤から送付する。

4. アーティスティックの日本代表選抜戦を神奈川でやるのか？

安藤さんに依頼が来ているアーティスティックの日本代表選抜戦を KBA が協力して行うか？

=> NBA、JPBF、関東支部が協力をしない状況では KBA ではできない。神奈川の店舗で行うのであればお店を紹介する程度でとどめておく方が良い。=> 承認

5. 年末に実施した協会加盟店舗および正会員に対するアンケート結果の報告（石井）

アンケートに回答してくれた人は3名で各々バラバラの意見。KBA に不満を持っているアンケート結果は無かった。KBA の理事会などに参加する意欲はない。これだけでは店舗オーナーの考えは解らない。

=> アンケート結果より KBA の方向性を定めて総会資料を準備しようと考えていたが難しい。（石井）

=> 生活も店舗オーナーはバラバラ。交流会を開催するのは困難。普及活動に力を入れたい。（崎村）

=> 交流会を中止にすると可能性がゼロになるので機会があればやれるようにしたい。（安藤）

=> 2025年の活動方針は、昨年と同レベルのイベントを開催しつつ、普及活動および店舗兼交流などのイベントができるように予備費を予算に計上しておくことにする。=> 承認

6. 総会に向けての準備（石井）

スケジュールを作成した。基本的な考え方としては以下の通り。

- ・他の公式戦で同クラスのイベントをバッティングさせない。
- ・関東支部のイベントの関東予選は1か月前までに代表者を決める。
- ・県内のハウストーナメントで同クラスのイベントをバッティングさせない。
- ・セスパのひよこカップのある月にはわかばカップをバッティングさせない。

ミッドナイトのCビギは第3日曜日で、わかばカップができない可能性がある。（崎村）

=> 確認する（安藤）

例年、県知事杯と KBA 杯を同日開催にしているが別けた方が良くもしい。（安藤）

=> 崎村賛成。

=> KPBA と相談する。（石井）（安藤）

7. 講師選定ガイドライン（石井）

資料を作成した。今回の授業は時間的な猶予が無かったため理事長が講師を選任したが本来であれば理事会で承認された人物がふさわしい。次回の授業では講師は募集する事として理事会で承認するプロセスを踏む事にする。=> 承認

8. ビリヤード普及活動計画（石井）

地域や学校などのイベントでビリヤード普及活動をするための資料を作成した。広場や公園やショッピングモールや学校などでビリヤード台（7 f t）を使用して活動をしていきたい。

=> 次年度の予算に計上し総会案件とする。

学校の授業が成功したので横浜の教育委員会の窓口にご相談し、引き続きビリヤード台の寄贈を進めていく。（崎村）（石井）

